

ぐんぐん

調布市立上ノ原小学校
第2学年 学年日より
令和4年3月18日

学校生活の様子を版画で表しました。



図工で版画を行ないました。版画を始めるにあたり、子供たちにどれだけ版画のことを知っているかを尋ねました。すると版画がどういうものかわからないと言う子や、「黒くなった絵ですよね。」など何となく知っているけれど経験したこともないと言う子が多く見られました。子供たちにとって初めての版画の開始です。

まず、版画を刷るための版を作りました。目や鼻や口など体の各部位を別々に描き、それを切り取って組み合わせました。子供たちは、慣れ親しんでいる絵の描き方とは全く違うことに驚きつつ、楽しそうに組み合わせていました。

版が出来上がったら、いよいよローラーにインクをつけて版を刷ります。子供たちはドキドキしながらも、ローラーを持って版を刷りました。(写真が、その刷っている時の様子です。)

子供たちは刷り上がると、「本当に紙に写るんだ。」「版が黒くなった。」「すごい。こんなことができるなんて。」など、出来上がった嬉しさと共に感想をつぶやいていました。

子供たちにとって初めての版画でしたが、これまでとは違う表し方を知る良い機会となったようです。そして、それを作り上げる楽しさも感じてもらえて良かったです。

今回の版画もそうでしたが、子供たちの作品を作る時の瞳がキラキラしていて素敵でした。ここをこうしてみよう、こうやったら面白いかもなど、その世界に入り込み楽しんでいる瞳が、どの子も素敵でした。2年生の図工はこれで最終回となりますが、3年生になっても、その思いをもち続けてもらいたいです。